

《今週号の主な内容》

■先週・今週の報道発表

今週の RPPC に関連する発表は特にございません

■RPPC 事務局からのお知らせ

平成 28 年度第 2 回調査・研究部会（勉強会）開催について

■リサイクルポートに関連する最新の情報

1. 福島県地港審、小名浜港の改訂計画案を了承
2. 北九州港新門司沖土砂処分場（Ⅱ期）、今年夏前にも埋立承認の見込み
3. 水島港ポートセミナー開催、更なる利用を呼びかけ

=====

◇RPPC 事務局からのお知らせ

平成 28 年度第 2 回調査・研究部会（勉強会）の開催について

標記部会を下記の通り開催致します。

日時：平成 29 年 2 月 21 日（火）15 時から 16 時半
会場：みなと総合研究財団 3 階会議室

内容：循環資源の情報ネットワークに関する取組事例の紹介

1. 廃棄物処理・リサイクル IoT 導入促進について
（一社）資源循環ネットワーク
2. モーダルシフト・輸送効率化による低炭素型静脈物流促進事業における情報管理等
（株）酒田港リサイクル産業センター

部会員の方は、出欠について 2 月 14 日（火）までに事務局へご連絡いただきますようお願い致します。

=====

◇リサイクルポートに関連する最新の情報

1. 福島県地港審、小名浜港の改訂計画案を了承

福島県地方港湾審議会が 1 月 30 日に開催され、平成 40 年代を目標年次とする小名浜港港湾計画の改訂案を了承した。3 月上旬の交通政策審議会港湾分科会に上程する。

改訂案では石炭を取り扱う岸壁として、東港で工事中の水深 18m 岸壁（計画では水深 20m、東港第 1 岸壁）と連続する水深 20m の東港第 2 岸壁を新たに位置付けた。

小名浜港の石炭取扱量は今後、新規発電所の建設等により1600万tが見込まれるが、既存ふ頭は約700万t程度が上限のため、残りの約900万tを東港に配分。ただ現在整備中の東港第1岸壁だけでは荷捌き能力が不足することから、コンテナ用岸壁として現状計画に位置付けている第2岸壁（未整備）を石炭用岸壁に用途を変更し、大型の石炭輸送船（17万5000t級）に対応する。

【港湾空港タイムス】

2. 北九州港新門司沖土砂処分場（Ⅱ期）、今年夏前にも埋立承認の見込み

九州地方整備局北九州港湾・空港整備事務所が事業着手に向けて取り組んでいる北九州港新門司沖土砂処分場（Ⅱ期）の整備計画は今後、地元自治体や公有水面埋立免許権者である福岡県の議会を経て、今年夏前にも埋立承認が得られる見通しになっている。同整備事務所では免許承認時期を視野に入れつつ、29年度からの現地着工に向けて事前準備を進める。

北九州港新門司沖土砂処分場（Ⅱ期）は、北九州空港に隣接する形で埋立区域面積約250haを確保するもので、関門航路の水深14m化で発生する浚渫土砂1600万立方m、北九州港新門司航路（水深10m化）の800万立方m、苅田港航路（本航路水深13m化）800万立方mの合計約3200万立方mの浚渫土砂を受入れる施設になる。同事業については環境アセスメント等の環境関連手続きが全て完了しており、北九州港湾・空港整備事務所では昨年末に福岡県に公有水面埋立承認願書を提出、このほど同願書の縦覧が終了した。

このため今後は同承認申請内容について地元自治体が3月議会で議論に入ると共に、同議決を踏まえて福岡県が6月議会で議案を審議し、合意が得られれば同月中にも免許承認する見込み。

【港湾空港タイムス】

3. 水島港ポートセミナー開催、更なる利用を呼びかけ

岡山県、水島港インターナショナルトレードセンター（MITA）主催による『水島港ポートセミナー』が1月31日、都内のホテルで開かれた。佐藤兼郎岡山県副知事が主催者挨拶したほか、三村富士男土木部長が水島港の動きを紹介。また水島港のコンテナターミナル等の管理運営を行っている杉潔水島港国際物流センター代表取締役副社長が運営

者の立場から水島港のターミナル施設や最近の荷動き等を説明した。

開会にあたって佐藤副知事は「国際拠点港湾の水島港は、背後に全国有数の水島臨海工業地帯を控え、海上物流の玄関口として岡山県の産業発展に欠かすことが出来ない経済的ポテンシャルの高い港として取扱貨物量も中・四国では第1位、全国でも第9位に位置している。玉島ハーバーアイランド地区には穀物取扱拠点として新たな施設建設が進んでいるほか、水島地区と玉島地区をダイレクトに結ぶ『倉敷みなと大橋』が3月には供用開始する予定になっているなど、更に発展していく機運にある。今後とも港湾機能の強化に努めると共に、官民を挙げた利用促進に取り組んで参りたい」と挨拶した。

【港湾空港タイムス】

発行所：RPPC 広報部会
部会長：徳田 英司 新日鐵住金（株）
部会員：山崎 和宣 五洋建設（株）
木村 竜也 東京都
梅木 重光 (株)酒田港リサイクル産業センター
新谷 聡 りんかい日産建設（株）
リサイクルポート推進協議会 事務局
一般財団法人みなと総合研究財団（内） 担当：本野、清水、菖木
URL：www.rppc.jp E-mail：rppc_jimukyoku@wave.or.jp

- 会員主催や会員に関係した催し物（セミナーなど）の情報がありましたらご連絡下さい。開催案内等の情報をメルマガで配信致します。
- メルマガ配信先に変更がある場合、事務局までご連絡下さい。
- メルマガに関するご意見、ご要望がありましたらご連絡下さい。